

# KYOTO CMEX 2016

KYOTO  
CROSS MEDIA  
EXPERIENCE  
2016



## コンテンツビジネスの可能性と未来像を探る コンテンツクロスメディアセミナー

マンガ・アニメ、映画・映像、ゲームなどコンテンツの発祥の地である京都では、伝統・文化、観光、ファッション、音楽、食など多彩な分野の資源や人材に恵まれています。

本セミナーでは、KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience) 2016のイベントの1つとして、業界で活躍するトップリーダーによる連続セミナーを開催し、コンテンツビジネスの可能性と未来像を探るとともに、人材育成・交流の場を創出します。

### 第1回 10月4日(火) 「神の雫」にみる コンテンツの可能性



**亜樹 直氏**  
<樹林 ゆう子氏・樹林 伸氏>  
(漫画原作者)



2009  
GOURMAND  
awards

2009年7月  
「グルメン・クックブック大賞  
・ワイン部門」で殿堂入り

### 第2回 10月13日(木) ドラゴンクエスト誕生30周年×ファミ通創刊30周年 「ドラゴンクエスト」にみる ゲームとメディア、30年の軌跡



**堀井 雄二氏**  
(ゲームデザイナー)



モデレーター

**林 克彦氏**  
(カドカワ株式会社「週刊ファミ通」編集長)

### 第3回 10月26日(水) 映像表現の未来について 石橋 義正氏 (映像作家)



オー!マイキープロジェクト 2016



第1回

10月4日(火)

講演会 / 16:30~17:45  
(開場 16:00~)  
交流会 / 17:45~19:00

京都国際マンガミュージアム

「神の雫」にみる  
コンテンツの可能性

講師 亜樹 直氏

<樹林 ゆう子氏・樹林 伸氏>(漫画原作者)

【プロフィール】

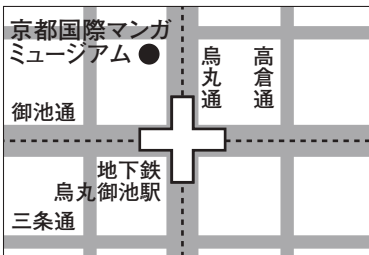
姉弟で漫画原作を手がけるユニットで、亜樹直はふたり共通のペンネーム。  
亜樹直のペンネームでは『神の雫』『サイコドクター 楷恭介』の原作を手がける。  
姉の樹林ゆう子は、亜樹直の名前でAsahi.comにコラム「神の雫作者のノムリエ日記」(2008年に講談社より単行本化)を、雑誌「DIME」(小学館)にて『女神の雫』をそれぞれ連載中。  
弟の樹林伸は、漫画原作のほか小説『ビット・トレーダー』(幻冬舎文庫)、『ドクター・ホワイト』(角川書店)などを、本名で執筆している。  
また、2009年は歌舞伎作品の原案「石川五右衛門」も手がけ、市川海老蔵が演じて話題になった。

●『神の雫』(全25巻)は内外のワイン業界に影響を与えたワイン漫画。  
アジア各国、フランスで翻訳版が刊行され、韓国では累計300万部、台湾では累計100万部、フランスでは現行7巻までの累計で35万部を販売。コミックの翻訳作品としては異例のヒットを樹立している。  
2009年3月、日本人として初めてワイン専門誌「ラル・レビュー・ド・バン・ド・フランス」の特別賞(最高賞)を受賞。  
2009年7月、料理本のアカデミー賞といわれる「グルメ・クックブック大賞・ワイン部門」で、漫画作品として初の「殿堂入り」を果たし、大きな話題となった。

定員 200名(交流会/50名)

参加費 無料(交流会/2,000円)

■京都国際マンガミュージアム



京都市中京区烏丸通御池上ル 元龍池小学校  
地下鉄「烏丸御池駅」2番出口徒歩2分

第2回

10月13日(木)

講演会 / 16:00~17:15  
交流会 / 17:15~18:30

ハイアットリージェンシー京都

ドラゴンクエスト誕生30周年×ファミ通創刊30周年  
「ドラゴンクエスト」にみる  
ゲームとメディア、30年の軌跡

講師 堀井 雄二氏

(ゲームデザイナー)

【プロフィール】

1954年生まれ。淡路島出身。早稲田大学第一文学部を卒業後、雑誌、新聞などのフリーライターを経て、1981年エンックス主催の「ゲームプログラミングコンテスト」入賞。  
ゲームデザイナーへの道を歩みはじめる。  
1986年、シリーズ第1作目となる「ドラゴンクエスト」を発表。  
その3作目となる「ドラゴンクエストIII そして伝説へ…」は、さまざまな社会現象を引き起こすほどの大ヒットとなり、以後、つねにゲーム業界の第一線で活躍。家庭用ゲーム機にRPGというジャンルを定着させた第一人者である。  
主な作品:「ドラゴンクエスト」シリーズ、「ポートピア連続殺人事件」、「オホーツクに消ゆ」、「いただきストリート」シリーズなど。

モデレーター 林 克彦氏

(カドカワ株式会社『週刊ファミ通』編集長)

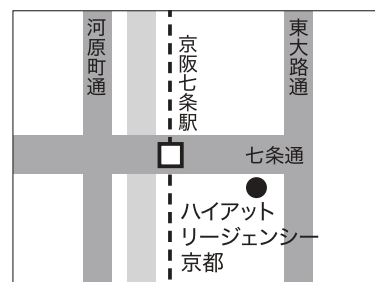
【プロフィール】

1973年青森県生まれ。1994年より週刊ファミ通編集部勤務。  
ニュースページ担当デスク、副編集長を経て、2013年4月『週刊ファミ通』編集長に就任。  
ゲームは雑食。インタビュー好き。進化を続けるゲーム業界につねに対応すべく、アグレッシブな誌面作りを心掛けている。

定員 300名(交流会/100名)

参加費 無料(交流会/3,000円)

■ハイアットリージェンシー京都



京都市東山区三十三間堂廻り 644番地2  
京阪電車「七条駅」徒歩5分

第3回

10月26日(水)

講演会 / 16:30~17:45  
交流会 / 17:45~19:00

京都文化博物館

映像表現の未来について



ミロクローゼ製作委員会 2016

講師 石橋 義正氏  
(映像作家)

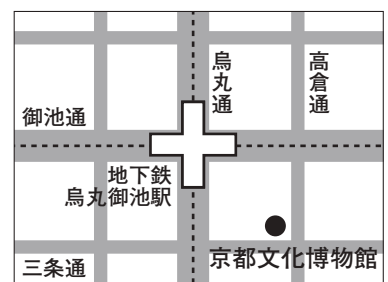
【プロフィール】

1968年京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院造形構想に在学中、英国王立芸術大学(RCA)映画科に交換留学。  
マネキンのドラマ『オー!マイキー』や劇映画『ミロクローゼ(主演:山田孝之)』の脚本・監督。テートモダンやニューヨークMoMAなど国内外の美術館で映像作品やライブパフォーマンスの発表も行う。近年は能楽や和太鼓などの伝統芸能とメディアテクノロジーを融合した舞台や、PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭でのインスタレーションの出品、『ファッション・カンタータ from Kyoto』の演出など、ジャンルを越えて幅広い創作活動を展開する。京都市立芸術大学美術科准教授。

定員 200名(交流会/50名)

参加費 無料(交流会/2,000円)

■京都文化博物館 別館ホール



京都市中京区三条高倉  
地下鉄「烏丸御池駅」5番出口徒歩3分

◆主催: KYOTO Cross Media Experience 実行委員会、京都商工会議所

第1回 第2回 第3回 いずれもWEB申込みのみ受け付けます

お申込みはこちら⇒

[http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event\\_107350.html](http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_107350.html)

詳細はこちら⇒

<http://cmex.kyoto/event/seminar/>



本件に関するお問い合わせは: メールでお願いします ⇒ [shinkou@kyo.or.jp](mailto:shinkou@kyo.or.jp)

参加にあたってのご注意

- WEB申込みの際に返送される「受付確認票」を当日受付にてご提出ください。「受付確認票」がない場合、入場をお断りすることがあります。
- 参加される際、出演者の写真・動画撮影、講演内容の撮影・録画など、ご遠慮くださいますようお願いいたします。撮影・録画をされた場合、退場いただく場合がございます。
- 交流会参加費は、当日受付にて拝受いたします。
- 参加申込みはWEBのみ、お問い合わせはメールのみで受け付けます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。